

～新南部清掃工場の特徴を、建設工事の進捗と合わせて紹介します～

## 新工場トピックス No.1 (ごみピット編)

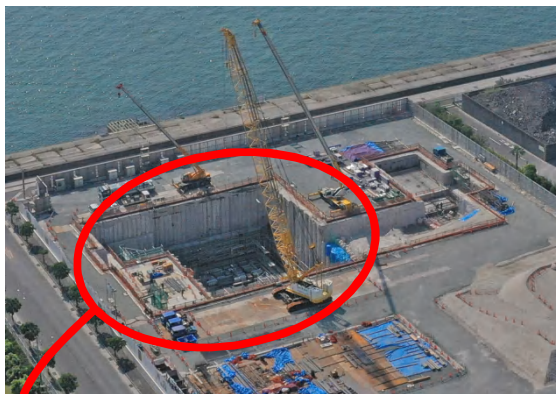


### ごみピットの容量が大きくなります！

令和元年6月現在、新工場建設工事では地下部分の「ごみピット」を施工しています。ごみピットは、搬入されたごみを貯める役割と、安全に燃やすために、ごみを攪拌する役割を持っています。**新工場は、現工場よりもごみピットの容量が大きいので、災害等の緊急時に、より柔軟に対応することができます。**(新工場でのごみ焼却が一時的に停止しても、ごみの受け入れを継続できるようにし、市民生活への影響を小さくすることを目指します。)

#### ごみピットの容量

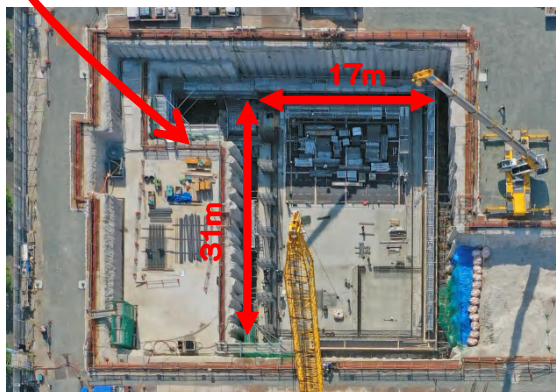
	新工場	現工場
容量	約9,000 m <sup>3</sup>	約4,000 m <sup>3</sup>
寸法 (幅×奥行×高さ)	約31m×17m×17m	約26m×12m×13m



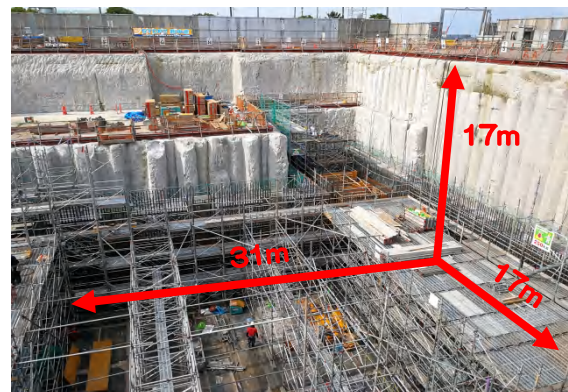
新工場施工状況 (5月末撮影)



現工場ごみピット



新工場ごみピット施工状況 (上空より)



新工場ごみピット施工状況 (6月上旬撮影)